

おおしまさんじょうあと
大島山城跡

相生市
那波大浜町
B-6



相生湾の大島山頂に1104年、矢野荘別名下司職の海老名家季が築城。後に赤松円心に属し白旗城籠城の際、留守にした大島城は、新田義貞側に落とされました。



周辺施設：道の駅海の駅あおい白龍城・相生ペーロン海館

きのやまじょうあと
城山城跡

たつの市新宮町
C-5



古代と中世にまたがる西播磨唯一の複合遺跡。赤松円心の三男則祐が築城、溝祐まで3代継承されましたが、嘉吉の乱(1441年)で落城、赤松氏も一時滅亡しました。



周辺施設：道の駅しんぐう

たつのこじょうあと
龍野古城跡

たつの市
龍野町上霞城
C-5



1500年ごろ鶏籠山(218m)に築城、4代約80年にわたり赤松村秀・政秀・広貞・広英(秀)が城主を務めました。秀吉に降伏。城は蜂須賀小六へと渡りました。



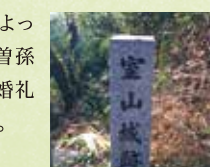
周辺施設：龍野公園・クラテラスたつの

むろやまじょうあと
室山城跡

たつの市
御津町室津
C-6



赤松円心の長男範資の時、新田義貞によって落城。後に浦上則宗が入り、兄の曾孫政宗の次男清宗と黒田官兵衛の妹の婚礼日、赤松政秀に急襲され廃されました。



周辺施設：道の駅みつ・室津海駅館

さこしうらじょうあと
坂越浦城跡

赤穂市坂越
B-6



大避神社の西側にあり今は公園となっています。茶臼山城麓の海拔約50mの丘城で、室町期に山名氏が築城、後に龍野城主の赤松村秀の通い城となり付近を支配しました。



周辺施設：旧坂越浦会所・坂越まち並み館

さきのまるじょうあと
篠ノ丸城跡

宍粟市
山崎町加生
C-4



3.5km北の長水城と連携した典型的な中世山城(325m)。1340年ごろ、赤松円心の叔父釜内範春が築城、約100年続きましたが、嘉吉の乱や尼子氏の来襲で落城しました。



周辺施設：宍粟山崎酒蔵通り

はがじょうあと
波賀城跡

宍粟市波賀町上野
(波賀城史蹟公園)
C-2



西播磨では珍しい非赤松系の波賀七郎が鎌倉初期に築城、3代約50年統治後に失脚。関東から中村光時が入り、20代350年続いた後、秀吉の播磨攻めで落城しました。



周辺施設：道の駅はが・みなみ波賀

たていわじょうあと
楯岩城跡

太子町上太田
C-5



1330年代、赤松円心の長男範資の子則弘(広)が城山(250m)に築城、嘉吉の乱で落ち、後に円心の次男貞範の曾孫貞村から5代居城後、秀吉による播磨攻めで落城。



周辺施設：斑鳩寺

りかんじょうあと
利神城跡

佐用町平福
B-3



1349年、赤松系の別所教範が築城(373m)。嘉吉の乱で落ち、1467年、治定が再興。1578年、山中鹿介により落城。江戸初期、池田輝政の甥由之が城主になりました。



周辺施設：道の駅宿場町ひらふく

発行 西播磨県民局(県民交流室 地域づくり課)

制作協力 ラジオ関西

※限られた情報量内で断片的に表記していますが、築城年代や築城者、代々の城主などについては諸説あります。詳細ははっきりせず、異説も多数あるため、目安としてお読みください。

山崎整の
西播磨の山城

QRコードを
読み込んで
歩こう!



ラジオ関西 558 毎週火曜 11:09~
※毎週日曜 8:25~再放送

「ラジオ関西」パーソナリティーの山崎整が、西播磨の山城について、播磨・摂津・備前・美作などの守護職を務めた赤松一族の興亡を軸に、分かりやすく解説しています。



パーソナリティー 山崎 整

注意事項

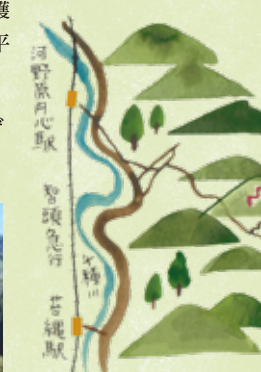
- QRコードの読み込みや音声を聴く際は、事故のないよう安全な場所で行ってください。山の中では電波の届かないこともありますので、あらかじめご了承ください。
- 山城の中には崖や石垣が崩落し、未整備の所もあります。登頂を禁止している山城もあるため、あらかじめ登頂可能か各市町に確認を取ってからお出かけください。
- 単独登頂、不慣れた登山は大変危険です。十分に装備をし、情報収集をした上、自己責任で登頂してください。

しらはたじょうあと
白旗城跡

上郡町赤松
B-5



赤松円心の手配で三男則祐が海拔440mの山頂に築城。1336年、円心や足利尊氏と敵対する建武政権の新田義貞軍による50日余りの包囲作戦に耐えて尊氏の防波堤となり、円心は後に室町幕府の播磨守護職に、『播磨鑑』では築城は平安後期としています。



周辺施設：円心館・光都プラザ



かんじょうさんじょうあと
感状山城跡

相生市
矢野町瓜生
B-5



赤松則祐が父円心のこもる白旗城と連携し新田義貞軍を撃退、後に室町幕府を開いた足利尊氏から手柄の証明「感状」を拝受し瓜生城を改称。築城は則祐とも、鎌倉期の瓜生左衛門尉とも。1577年の秀吉による播磨攻めに屈した際、三つの落城秘話が伝わります。



周辺施設：羅漢の里・羅漢渓谷



こうづきじょうあと
上月城跡

佐用町上月
A-4



1336年、赤松系の上月景盛が築城、4代目の時、嘉吉の乱で嫡流が滅亡。播磨・備前・美作国境の立地から1483年以降、山名・尼子・大内・浦上・陶氏らに相次ぎ攻められ、戦国末期、赤松氏の後、尼子勝久が城主の時に落城、配下の山中鹿介も護送中、殺されました。



周辺施設：ふれあいの里上月



西播磨 山城 観光MAP

西播磨には山城の他にも、多くの史跡が残されています。足を延ばして、歴史を肌で感じてみてください。



羅漢溪谷

感状山城麓にある羅漢溪谷。釈迦如来像をはじめとした16体の石仏や、羅漢の里キャンプ場があります。「ひょうご森林浴場50選」にも選定されており、春は桜、秋は紅葉が楽しめます。

相生市矢野町瓜生

B-5



龍野城・龍野の町並み

1672年に脇坂安政が築城した城で、本丸御殿などが復元されています。裏手の鶏籠山には赤松村秀が築城した山城も。風情ある町並みは、播磨の小京都と称されています。

たつの市龍野町

C-5



坂越の町並み

瀬戸内海有数の廻船業拠点として栄えた港町坂越。菅原道真など、古代から現代にかけて多くの旅人が立ち寄りました。播磨灘に臨む美しい町並みが、今もなお守られています。

赤穂市坂越

B-6



山崎城跡・山崎の町並み

1615年に池田輝政の四男輝澄が本格的に築城した山崎城。移築された山崎藩陣屋門(紙屋門)が鹿沢城とも呼ばれた城の面影を残しています。町を歩けば、当時の城下町風情が感じられます。

宍粟市山崎町

C-4



斑鳩寺

聖徳太子が1400年前に建てた、歴史ある寺院です。三重塔や木造日光・月光菩薩立像、木造聖徳太子立像など多くの重要文化財が残されています。

太子町鳩

C-5



円心館

赤松家ゆかりの文化財を展示しています。赤松円心、則祐、雪村友梅、寛安尼の木造坐像は南北朝時代の彫刻で、県の有形文化財に指定されています。

上郡町河野原 宝林寺内

A-5



平福の町並み

江戸時代に因幡街道唯一の宿場町として栄えた平福は昔ながらの町並みを残しており「宮本武蔵初決闘の場」や、時代劇の撮影に使われた土蔵群の川端風景など、数多くの旧跡が残っています。

佐用町平福

B-3



中世の播磨を代表する 名族・赤松氏

村上天皇の子孫と称する源則景が鎌倉初期、播磨佐用庄の地頭となり、末の息子家範が、住んだ村名から赤松氏を名乗ったのが始まりとされます。家範の曾孫円心が倒幕で活躍したにもかかわらず、建武政権で冷遇されたため足利尊氏に呼応して後醍醐天皇に反旗を翻し、尊氏が建てた室町幕府で播磨国守護に就きました。息子3人のうち、三男則祐の系統が飛躍し、播磨・備前・美作などの守護を兼ねる絶頂期を迎えましたが、1441年、則祐の孫満祐が將軍足利義教を殺害する「嘉吉の乱」を起こして断絶。後に満祐の弟義雅の孫政則が復興するも、家臣浦上氏に実権を奪われ、秀吉の播磨攻めで弱体化しました。西播磨にはゆかりの山城が多数あります。



What's

西播磨

兵庫県西部に位置し、北は但馬・鳥取県、南は瀬戸内海、西は岡山県、東は姫路市を中心とする中播磨地域に隣接し、兵庫県約5分の1に当たる面積を有しています。相生市、たつの市、赤穂市、宍粟市、太子町、上郡町、佐用町の4市3町で構成されています。

Information インフォメーション

- 観光に関するお問い合わせは観光協会へ
- 相生市観光協会 ☎0791-22-7177
 - たつの市観光協会 ☎0791-64-3156
 - (一社)赤穂観光協会 ☎0791-42-2602
 - (公財)しそ森林王国観光協会 ☎0790-64-0923
 - 太子町観光協会 ☎079-277-2566
 - 上郡町観光協会 ☎0791-52-1116
 - 佐用町観光協会 ☎0790-82-0670